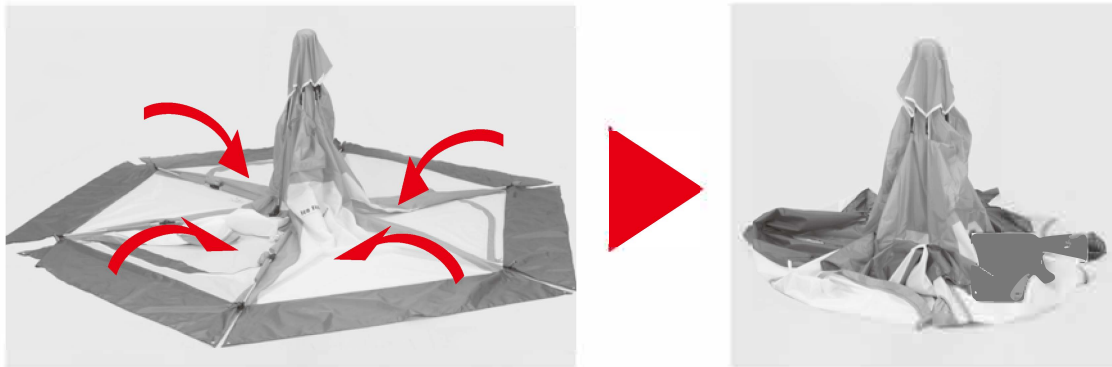


**STEP 3** 第2ジョイント部（6ヶ所）を手前に引いてロックを外し、6本のフレームを折り曲げます。

第2ジョイントはロックを外してから折り曲げる



※トップカバーは外して収納してください。S字フック(4ヶ所)をリングから外してください。

**STEP 4** 最後にキャリーバッグに入れて撤収完了です。



# Ice Fishing Shelter Auto/M Ice Fishing Shelter Auto III

## 取扱い・組立て説明書



この取扱い説明書は大切に保管してください。

この度はアイスフィッシングシェルターオート/M・アイスフィッシングシェルターオート IIIをお買い上げいただき誠に有難うございました。  
シェルター設営の際はできるだけ平らな場所を選んでください。  
また、石や木の枝等、シェルターを傷つけるおそれのあるものは、あらかじめ取り除いてから設営してください。

コールマンジャパン株式会社

お問い合わせフリーコール  
コールマンカスタマーサービス : **0120-111-957**  
受付時間 : 月曜日～金曜日（祝祭日を除く）10:00～17:30

# 組立・使用上の注意及び禁止事項

**危険** この警告を無視して誤った組み立て方や使い方をすると、人が死亡、または重傷を負う事故が想定される内容を表しています。

- シェルター内での火気の使用は、一酸化炭素中毒等、大変危険で生命をおびやかす恐れがありますので絶対におやめください。また火災等の原因となりますので、火気から離れたところに設営してください。
- 台風、暴風雨、落雷等の異常気象の際は危険ですのでシェルターの使用はお避けください。
- 河原の中洲や崖下などの増水、落石の危険のある場所でシェルターを設営しないでください。

**注意** この注意を無視して誤った組み立て方や使い方をすると、事故やケガといった人的傷害、又は物的傷害の発生が想定される内容を表しています。

- お出がけの前に全ての部品が揃っているか確認してください。
- 無理な設営はポールや本体破損の原因となります。
- シェルターの設営の際はグローブを着用してください。
- フレームを伸ばす際は指を挟まないように注意してください。
- ペグを打つ際にハンマーで指を打たないように注意してください。
- 小さいお子様に組み立てやペグ打ちの作業をさせないでください。
- 風が強い時はテント、シェルターの設営を行わないでください。本体が飛ばされて思わぬ事故やフレーム折れ、本体破損の原因となります。
- シェルター設営の際はできるだけ平らな場所を選んでください。また、風の影響を受けにくい場所を選んでください。
- 石や木の枝等、テント、タープを傷つける恐れのあるものはあらかじめ取り除き、整地してから設営してください。
- シェルター本体はペグとロープで確実に地面に固定してください。風で飛ばされたり思わぬ事故につながる可能性があります。
- シェルターを設営する場所によっては付属のペグが使用できない場合があります。あらかじめ設営場所の状態を確認しておいてください。
- シェルターから長時間離れる場合は必ず撤収してください。急な天候の変化、突風などにより、シェルターが飛ばされて思わぬ事故の原因となります。
- 寒冷地仕様のため、縫製ラインにはシームテープ加工はされていません。雨の日を使用した場合は雨水が漏れる可能性があります。
- **結露について**  
シェルターの生地には防水加工が施されていますので、外気との温度差が大きいと生地の内側の壁面に水滴がつくことがあります。これは水漏れではありません。シェルター内の換気を行うことで改善することができます。

# 収納・管理の注意

**注意** この注意を無視して誤った組み立て方や使い方をすると、事故やケガといった人的傷害、又は物的傷害の発生が想定される内容を表しています。

- 使用後は汚れを落とし、十分に乾かしてから収納、保管してください。濡れたままの状態での収納は、色移りやカビ発生の原因となります。
- 撤収時、雨などで本体を乾かせない場合は、持ち帰ったあとできるだけ早く乾燥させてください。そのまま放置しますと色移りやカビ発生の原因となります。
- 汚れを落とす場合は、固く絞った布で拭き取りよく乾燥してから保管してください。
- シンナー、ベンジンなどの有機溶剤の使用は、色落ち、変色およびプリントや樹脂加工の剥がれの原因となります。
- ポール本体に付いた砂や土はきれいに拭き取ってから収納してください。また、濡れたまま収納しますと腐食の原因となります。
- 本体、収納ケースは洗濯しないでください。
- 幼児、子供の手が届かない場所に保管してください。

# 各部の名称・セット内容

**セット内容** お出掛けになる前に一度、パーツ等の不足がないかご確認ください。  
● 本体（フレーム装着済）1張 ● 自在ロープ 6本 ● アイスペグ 12本 ● スペース 1コ

## 【設置時】

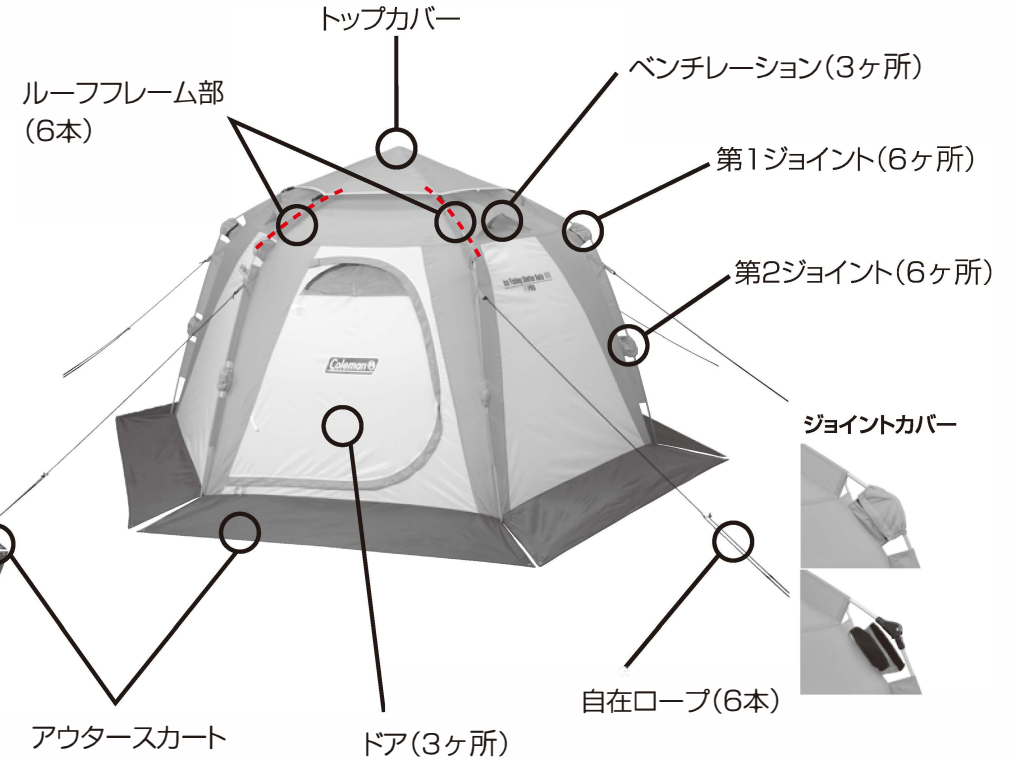
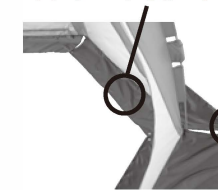
トップカバーを外した状態



スペース



インナースカート



ジョイントカバー

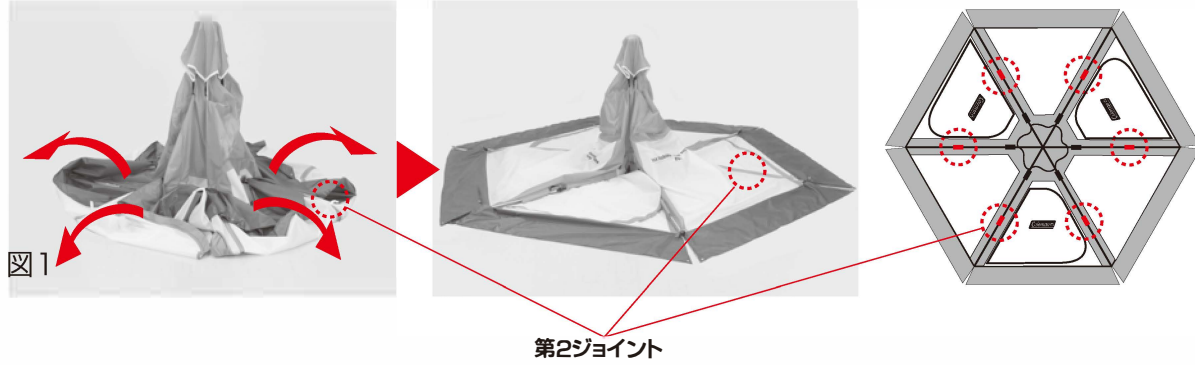


# 設営手順

## STEP 1

シェルターをキャリーバッグから取り出し下ののように広げ、第2ジョイント(6ヶ所)を伸ばし広げます。ジョイントは確実に伸ばしてください。(図1)  
次にすべてのジョイントカバー(第1ジョイント6ヶ所、第2ジョイント6ヶ所)を外します。(図2)

※トップカバーを取り付けてください。S字フック(4ヶ所)をリングに引っ掛けます。



第2ジョイント

【ジョイントカバーを外す】

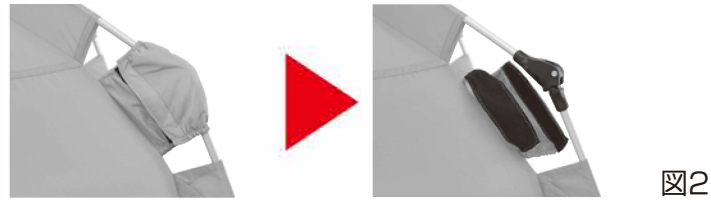


図2

## 設営手順

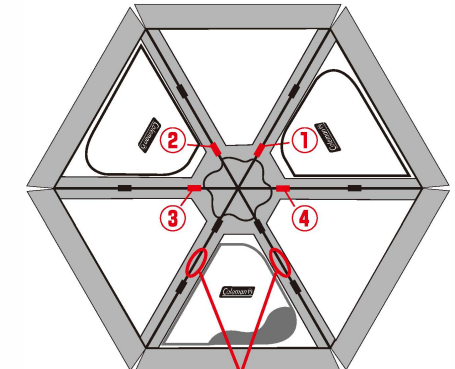
## STEP 2

ドア(1ヶ所)を開けてドア部のルーフレーム2本を持ち(図示した握る位置)、奥の第1ジョイントから伸ばしていきます。

**注意** 第2ジョイント部がしっかり伸びているのを確認してから行ってください。



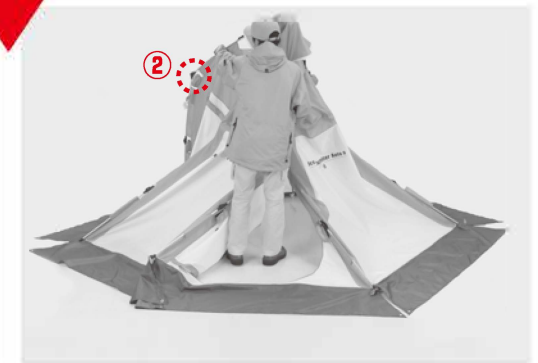
ドア部のルーフレーム2本を持ちます。



握る位置



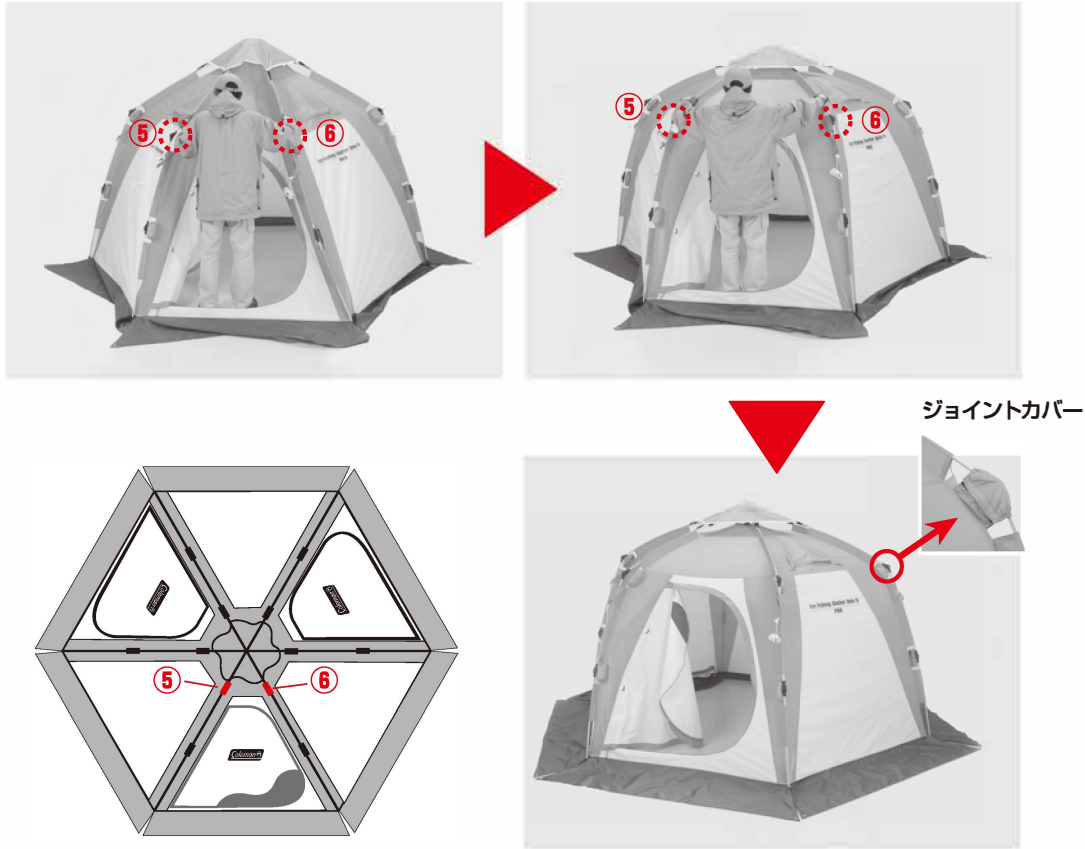
①と②の第1ジョイントを伸ばします。



次に③と④の第1ジョイントを伸ばします。

# STEP 3

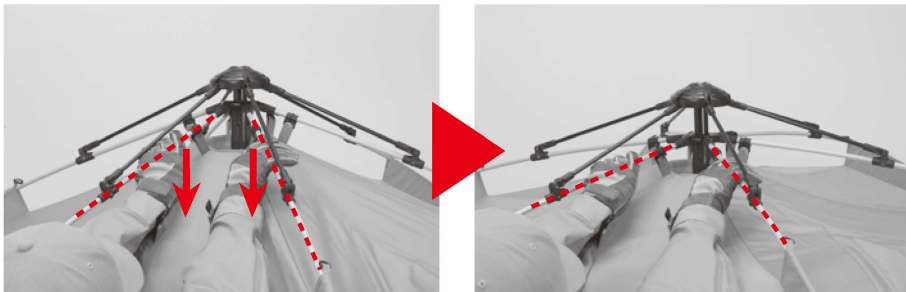
最後に⑤と⑥の第1ジョイントを伸ばすと自動的にテンションがかかり本体が立ち上がります。ジョイントカバー(第1ジョイント6ヶ所、第2ジョイント6ヶ所)を付けます。



**⚠ 注意** 外気温が低い場所ではシリンダー内部のガス体積が変化するため、フレームが自動で完全に開ききらない場合があります。その場合には手動でフレームを広げてください。

### 【手動で広げる場合】

下記のようにハブに近いフレーム2本を下方向へ押します。



※写真はわかりやすいようにトップカバーを外しています。

## 設営手順

# STEP 4

スペーサーでフレームを固定してください。

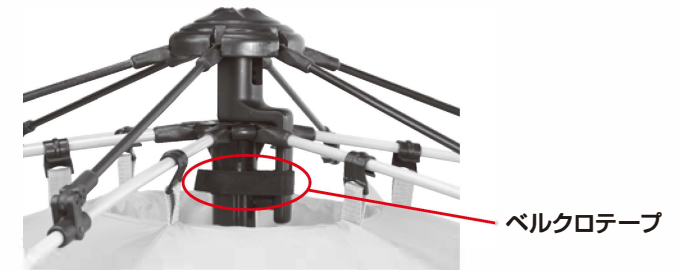
①スペーサーを準備し、センターフラップを広げ、横にあるサイドフラップを開きます。



②片方の手でシリンダーの下部のフックをひっぱりフレームを下方向に下げながら、もう片方の手にスペーサーを持ち、サイドフラップに手を通して横からハブに差し込みます。

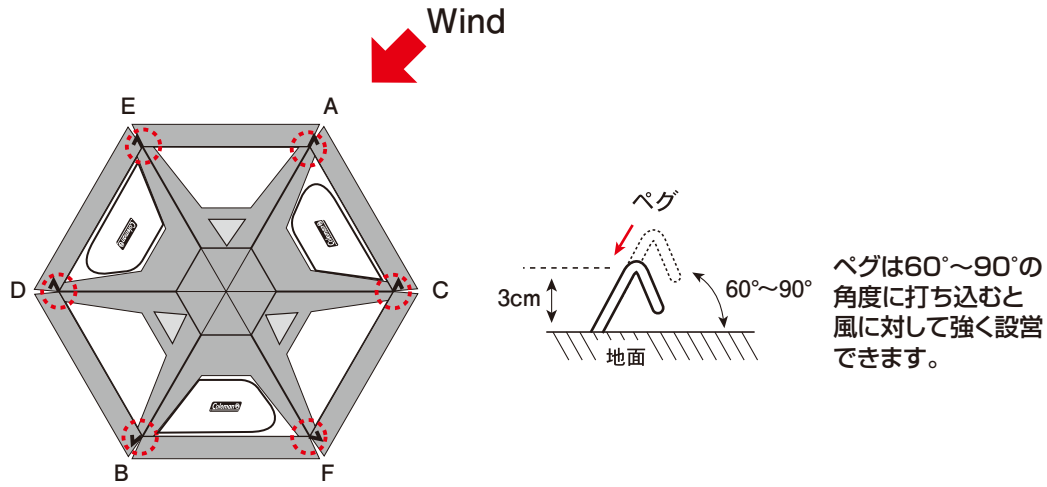


③スペーサーのグリップ部についているベルクロテープでシリンダーに固定します。



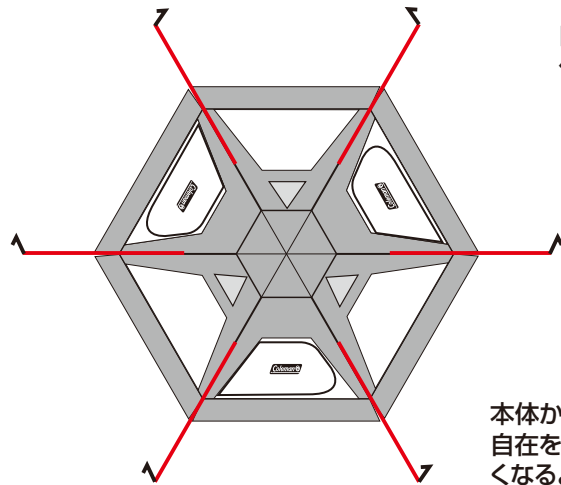
※写真はわかりやすいようにトップカバーを外しています。

**STEP 5** シェルターの設営位置を決め、図のように6ヶ所のループを風上より順に(A~F)対角線にペグ打ちしてシェルターを固定してください。

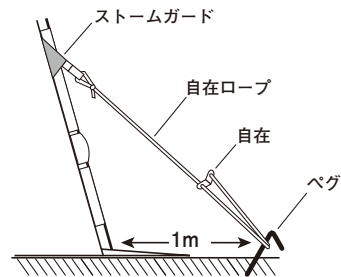


ストームガードに自在ロープ(6本)を取り付けペグで固定します。アウタースカート、インナースカートを広げて完成です。

**注意** シェルターを固定するために必ず自在ロープを使用してください。



自在ロープの端をストームガードに結び、ペグを打ち、ロープをかけて自在をしめあげます。



本体から約1m程離れた位置にペグ打ちして固定します。自在をしめあげて、フレームが前後左右に大きく動かないよう調節してください。

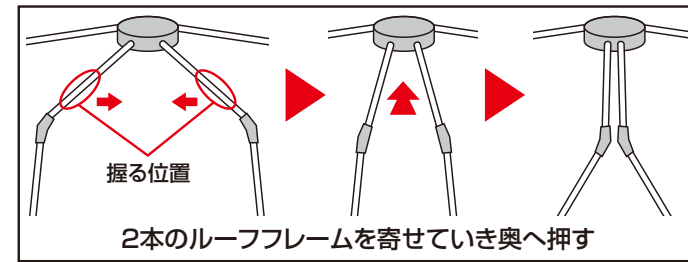
**One Point!**

アウタースカート、インナースカートに雪を載せると、ウエイトの代わりになり、更に固定できます。

# 撤収手順

**STEP 1** ロープ及びペグをすべて取り外します。ジョイントカバーは付けたままで撤収します。  
※ジョイントカバーを外して収納するとシェルターの生地がジョイント部に挟まり、穴、破れなどの原因となります。

**STEP 2** スペースを外し、ドア1ヶ所を開けドアの上のルーフフレーム2本を合せるように寄せていき、更に奥へ押ししていきます。2ヶ所の第1ジョイントが折れ曲がります。順に他の第1ジョイント(4ヶ所)を折っていきます。



**注意** ルーフフレームの握る位置は第1ジョイントより少し上を持ってください。

